

平成 28 年度南予地方局予算の実施状況 (H29. 3. 31 現在)

- 1 予算事項名 南予産ヒノキ等利用促進事業費
- 2 事業期間 平成 27 年度～平成 28 年度
- 3 所 管 産業経済部森林林業課
- 4 事業概要

南予地域に豊富に存在するヒノキの森林資源を有効活用して、木製品等への利用を促進するとともに、地域での薪の利用システムを構築し、新たな収入源を確保することによって、所得向上及び雇用の場を創出し、南予地域の活性化を図る。

	平成 28 年度
予算額	701 千円

5 28 年度の事業実施状況

(1) 宇和島高等技術専門校連携事業

県内で唯一の木工クラフト科を有する宇和島高等技術専門校（以下、専門校）と連携し、南予産ヒノキを利用した木製品をデザイン・作製し、JR 駅など人の集まる公共スペースに設置し、南予産ヒノキの PR と同時に新たな活用方法について提案を行うとともに、ヒノキ材の特性や間伐材利用の意義など森林林業について理解のある木工技術者の養成を行う事業として次の事項について実施した。



写真-1 第 1 回連絡協議会

① 連絡協議会の開催 (写真-1)

南予産ヒノキを活用した木製品の開発、展示、活用方法について検討した。

【構成員】専門校教諭、JR 宇和島駅管理総括助役、愛媛県木材協会宇和島支部長、南予森林組合専務、南予地方局森林林業課主幹

・ H28 年 6 月 7 日(火) 第 1 回連絡協議会を開催し、今年度のヒノキ木製品の設置場所を JR 松丸駅舎に決定した。

② ヒノキ加工技術者養成研修会の開催 (写真-2)

- ・ 専門校木工クラフト科生徒を対象に先進林業地視察 (久万高原町 : 8 月 31 日)
- ・ 先進的技能者による室内講義を開催 (11 月 16 日・12 月 15 日)



写真-2 ヒノキ加工技術者養成研修会の実施状況

③ 南予産ヒノキ木製品の作製・設置（写真-3）

・専門校木エクラフト科生徒が、H29.1～2月に作製し、2月27日、JR松丸駅に設置し、松野町、JR宇和島駅、専門校、南予地方局等による除幕式を行った。

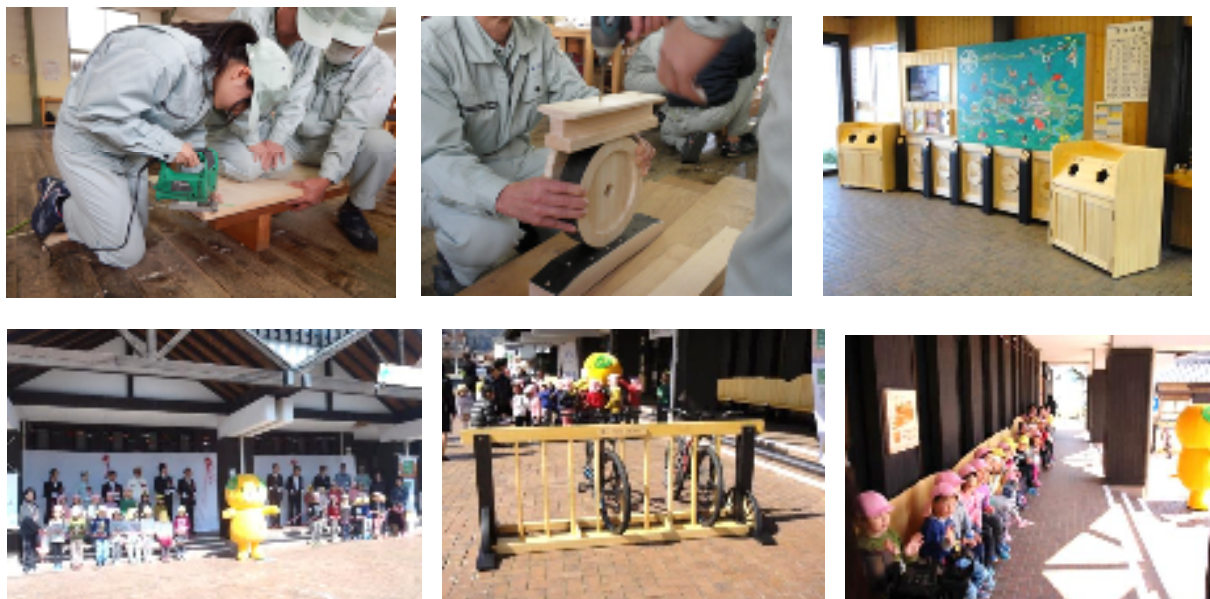


写真-3 南予産ヒノキ木製品の作製・設置

④ 製品利活用検討会の開催（写真-4）

・H29年3月28日（火）の連絡協議会において、改善点や木製品のニーズについて分析し、今後の製品開発及び消費拡大について検討を行った。

木材需要拡大等に関するアンケート結果については、H27年度と比較して、欲しい（使いたい）木製品として、お風呂関係や木製おもちゃが多かった。また、専門校からH29新規事業として、「木製遊具の無料貸し出し事業」の紹介があり、今後、有効活用することとした。



写真-4 製品利活用検討会

（2）薪利用促進事業 【ゼロ予算】

薪ボイラーの導入（H26 祓川温泉）を契機に、農山村における雇用と所得機会の創出を図るため、宇和島市において取り組む地域・家庭レベルでの木質エネルギーの利用普及・地産地消化の取組みに対し、専門的な指導助言等を行う事業であり、宇和島市と連携して、次の項目について実施した。

- ① 薪利用エコストーブ普及事業
- ② 地域資源の現状、薪需要等の調査
- ③ 林地残材等収集トライアル事業

